

きこえの教室



補聴器・きこえに関する講演会 言語聴覚士、認定補聴器技能者がお話します

申込みは不要です 直接会場へお越しください



日程		会場	内容
①	6月27日（金） 午前10時～	産業文化会館	言語聴覚士による講演 「きこえのしくみと補聴器について」
②	9月16日（火） 午前10時～	健幸すぽっと のびのび苑	言語聴覚士による講演 「補聴器・きこえを補う機器を上手に使うために」
③	12月16日（火） ①午後2時～ ②午後3時10分～	市役所新庁舎	①言語聴覚士による講演 「きこえを補う補聴機器について」 ～より会話や生活をしやすい方法～ ②電話リレーサービスについて
④	令和8年 3月19日（木） 午後2時～		認定補聴器技能者による講演 「進化する補聴器と聴覚機器」 ～最新デジタル技術のご紹介～

きこえにくい方を対象とした 要約筆記・手話通訳のある スマートフォン講座

事前申込みが必要です 締切11月10日（月）



日程	会場	内容
11月19日（水） 午後1時30分～	中央公民館	スマホデビューからもう一歩！ 「セキュリティ・健康管理編」

きこえにくい方が安心してご参加いただけるよう、話している内容をパソコン
又は文字で書き伝える**要約筆記**、きこえを補助する**ヒアリンググループ**（受信機
の貸出可）、**手話通訳**を用意しています。

問合せ・申込先 長岡京市役所 障がい福祉課
FAX 075-952-0001 電話 075-955-9710

正しく理解しましょう

ヒアリングフレイル

「聴覚機能の衰え」つまり難聴のことを指すとともに、難聴を原因として周囲との関わりが大きく変化してフレイル状態になることを意味します。

フレイルとは、加齢に伴う気力や体力、心身の活力の衰えを指します。

なぜ、「聞こえ」は重要？

▶「聞こえづらさ」をそのままにしておくと生活のさまざまな場面で影響が出てきます



周囲の様子が把握しにくくなる

クラクションの音など危険察知する力が低下

社会活動への影響

不安な気持ちになる

コミュニケーションへの影響

周囲の人との交流機会が減る

認知症との関連

「聴力の低下」がきっかけで全身のフレイルリスクが高まる可能性があります

まずは☑

4つ以上当てはまる場合は「聴覚低下」によるフレイルリスクが高まります

- ☐ 家族にテレビやラジオの音量が大きいと言われることがある
- ☐ 相手の言ったことを憶測で判断することがある
- ☐ 外出することがおっくうになった
- ☐ 会議や会食など複数人の会話がうまく聞き取れない
- ☐ 話し声が大きいと言われる
- ☐ 会話をしているときに聞き返すことが増えた
- ☐ 大きな声で話しかけられてもうまく聞き取れず、聞こえたふりをしてしまう

- ・聴力低下を原因とする変化であっても周囲の人が「認知症の初期症状」と捉えてしまうことがあります。また、聞こえづらさは加齢以外の原因がある場合もあります。
- ・「聞こえづらさ」がある場合は、本人や周囲の人が早く気づき、対処することが大切です。耳鼻咽喉科への受診、また「きこえの教室」や「耳のことなんでも相談会」の機会を活用してください。

耳のことなんでも相談会

時間 午前10時～午後4時 事前予約制 無料

補聴器やきこえについて言語聴覚士による個別相談ができます

市委託事業



問合せ・申込先 乙訓聴覚言語障害者地域活動支援センター
FAX 075-874-4478 TEL 075-874-4477

- | | | |
|-----|--------------|------------------------|
| 1回目 | 7月15日(火) | 南地域包括支援センター(アゼリアガーデン内) |
| 2回目 | 11月11日(火) | 長岡京市立健幸すぽっと のびのび苑 |
| 3回目 | 令和8年3月17日(火) | 市役所新庁舎 |